

学会ダイジェスト: 米国リウマチ学会2013
2013年10月26日～30日 San Diego, USA

閉経女性へのホルモン補充療法はACPA陽性RAの 発症リスクを低減する可能性

2013/11/5

閉経期ホルモン補充療法(PMH)と関節リウマチ(RA)の発症リスクとの関連を調べた新たな研究で、抗シトルリン化ペプチド抗体(ACPA)陽性の場合、HRT受療者ではRA発症リスクが低いという研究成果が示された。スウェーデンKarolinska InstitutetのCecilia Orellana氏らが10月26日から30日に米国サンディエゴで開催された米国リウマチ学会(ACR2013)で発表した。

更年期障害に対するPMHとRA発症の関連について調べたこれまでの研究では、関連性が認められないとする報告もあれば、リスクが増加あるいは減少するというものもあり、結論は定まっていない。